



かていどくしょ チャレンジ！家庭読書

2023.9.11
学力向上 読書推進

この夏、耳原小学校全員で取り組んだ“家庭読書”。

本を読むことは楽しかったかな？ 自分の好きな本に出会えたかな？

少しずつですが、友だちの読んだ本を紹介します。

知っている本はあるかな？ 読みたくなった本はあるかな？

耳原小学校の図書室や茨木市の図書館で見つけたら、ぜひ読んでみて下さいね。



「日本の歴史 国の成り立ち」

旧石器時代～古墳時代につれて文化や変化、大昔の人々がどのように狩りをしていたのかが、よく分かりました。特に、卑弥呼が金印や外国の通交について話しているところが勉強になりました。

「日本の危険生物 最強王決定戦」

48種類もの動物が、トーナメントで戦います。読んでみると、「この試合はだれが勝つだろう」とか、そう思いながら読みました。あと、その動物のスタイルやパラメーターがあるので見やすかったです。



「君の瞬臓をたべたい」

私は、「人生が一期一会。大切な人との出会いや思い出は、一瞬のうちに過ぎ去ってしまうものだけど、それが人生の輝きや幸せなんだ」ということを改めて実感しました。そして、自分自身も、大切な人たちと一緒に思い出に残る人生を送りたいと思いました。

大家さんと僕!!

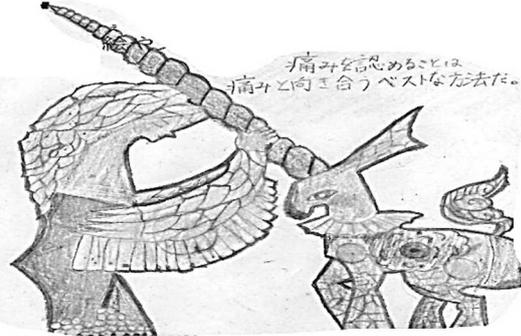


「大家さんとぼく」

この本に出てくる大家さんのあいさつは、「ごきげんよう」で、どこかの夫人かと思いきや、ふつうのおばあさんでした。でも、買い物をする時は、伊勢丹を使っています。ちょっと変わっているおばあさんだけど、面白いのでぜひ見てください。

「大丈夫じゃないのに 大丈夫なふりをした」

うまくやろうとするから失敗して
うまくやろうとするから悩みが増え
うまくやろうとするから心配りになり
うまくやろうとするから後悔して
うまくやろうとするから申し訳なさを感じる



私は、『どんなんでもすべてがいやになる日はある』の「自信を持つ方法」で書いてある、“あなたは今、どんな状況であっても自信を持っていい特別な存在だ”という言葉に「自信を無くすことは無駄なことだ!」とすることができました。2学期では自信を持っていこう!と思います。

「ネットのルール」



インターネットのウェブサイトには、わざとウソの情報を書いてあたるから、気を付けていきたいなと思いました

この本で、インターネットのことをたくさん知れました。便利な時もあるけど、危ないこともたくさんあるから、こわいなと思いました。

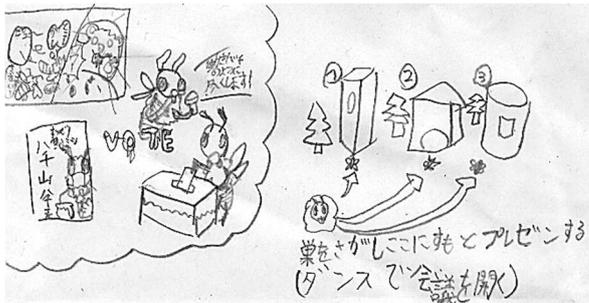
「天獄園」

最初はよゆうだった芯時くんだけど、最後の芯時くんは、ついに悲鳴をあげたけど、「その悲鳴ごと、ぱくんとピエロに飲み込まれてしまった」の文が、自分はこわかった。



「ものだま探偵団2『駅のふしぎな伝言板』」

ものには、“ものだま”というものがついてあることがあって、そのものだまは声が出せるけど、人によって聞こえる人、聞こえない人がいます。主人公の七子は、坂木町に引っ越したら、ものだまの声が聞こえるようになります。ものだまが荒ぶると、周りに変なことが起きて、今回は駅にある伝言板が荒ぶり、周りの人は、行き先が分からなくなったり、待ち合わせを忘れる人が続出します。私は、一度でもいいから、ものだまの声を聞いてみたいです。もし、ものだまの声が聞けるとしたら、私はランドセルの声を聞きたいです。いつもお世話になっているランドセルは、どんな風に気持ちで、いつも荷物を持ってきているのかや、荷物は重く感じているのかなどたくさん聞いてみたいです。ものだまの声が聞こえるようになったら、1人である時も楽しいと思うし、荒ぶって変なことさえ起こさなければ、人を笑顔にできるんじゃないかと思いました。



「ふしぎな昆虫大研究」

まず、すごいと思った所は、選挙をして選ばれたハチが家を探し、「ここがいいぞー」とダンスで表現するということです。ですが、天敵や寒すぎる場所だった場合は、全め

つする可能性があり、そこに住むハチが全めつたという事例も実際にあります。自分は、ハチの引っ越しがこんな命がけということも学びました。

「空にむかって ともだち宣言」

特に印象的だった場面は、難民の相談にのる団体のゴンさんが、ミャンマーから転校してきたナーミンのお父さんの話をしたところです。ナーミンのお父さんは新聞記者をしていて、書いた記事が国の政治に反対しているといわれ、暴力をふるわれたり、脅かされたりした というところを読んで、悲しかったです。けど、ナーミンはこんなつらい思いをしたけど、日本の学校で一生の友達ができていると思いました。





～ほかにも こんな本もあったよ～

- 怪人二十面相
- 犯人はぼくだけが知っている
- 「悩み部」の成長と、その緊張
- 銭天堂シリーズ
- のぼうの城
- 5億年後に意外な結末
- 魔法使いのチョコレート・ケーキ
- お金と経済
- 笑い猫の5分間怪談
- 5番レーン

子どもの感想を読んだら、この本を読んでみたくなりました。おもしろそうですね。

自分が興味のある本を、これからもどんどん読んでください。

この本に書かれているようにこれからの、人生での出会いを大切に、楽しく過ごしてほしいと思います。

同じ時間を共有できてよかったです。

夏休みはたくさん本を読みました。図書悪寒楽しかったね♪

子どものピュアな創造力？想像力を刺激するおもしろいストーリーで、私も読んでみたくなりました。

大人向けの本を、独力で読み切り、きちんとお話を把握できていてすごいと思いました。これからも、たくさんいろんな本を読んで、いろいろ得てほしいです。

読み聞かせをした後は、友達とこんな事があったとたくさん話をし、喜んでいたのでよかったですなと思いました。

